



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年5月29日
文責 八木幸夫

あいさつの力

6月1日(月)から5日(金)まで、生徒会執行部を中心とした「あいさつ強調週間」が展開されます。5月26日(火)の全校集会で、生徒会副会長の村上冬羽君から全校生に取り組みの説明が行われました。生徒会ではすでに生徒玄関の内外でのあいさつ運動を展開していますが、さらなるあいさつの活性化を図る計画です。

あいさつ強調週間

- ねらい** 全校生が大きな声であいさつをして、元気の良い小国中を作る。
- 期間** 6月1日(月)～5日(金)
- 内容**
- 朝のあいさつ運動：執行部と生活委員で行う。
(校門前、玄関前、バス降り場)
 - 授業前後のあいさつ：生活委員が呼びかけを行う。
(各教室、特別教室)
 - 下校時のあいさつ運動：執行部が行う。
(校門前、玄関前、バス降り場)



この活動が今年度最初の活動なので多くの人が大い声
であいさつをして、より良い小国中になることを期待します。
(「あいさつだより」5月26日より抜粋)

私達の元気の良いあいさつは、家族や地域の皆さんを元気づける力があります。校内だけでなく、家庭や地域でも元気なあいさつをし、「小国を元気にする小国中生」を目指しましょう。自主・自律、自分達ができることを自分達の手で取り組んでいきましょう。頑張ろう！小国中、仲間とともに。

あいさつは、コミュニケーションの第一歩です。「私はあなたを大切にしていますよ。」というメッセージを伝える優しい言葉です。だから、あいさつをされると心がほっこりしてきます。自分からあいさつをすることは、自分からその人に、心を開いてあたたかな関わりを求めることです。「おはようございます」、「こんにちは」、短い言葉の中にこめられたあたたかな思いが、あいさつの持つ大きな力です。

どんな時も自分からあいさつできる小国中生
いつでも どこでも 誰とでも 元気にあいさつ

学校パートナー会議

5月28日（木）、本校の地域協働活動の柱となる学校パートナーの活動について話し合う学校パートナー一年間活動計画会議を実施しました。地域の方に学校の教育活動に参加していただいたり、環境整備に取り組んでいただくねらいを確認し、今年度の活動の見通しをお話し合いただきました。会議では、和やかな雰囲気の中で新型コロナウイルス感染防止を図りながら、どのように協働活動を進めていくかについて熱心な意見交換が行われました。これまでも献身的に本校を支えてきていただきましたが、あらためて、小国中生の力強い応援団の存在を頼もしく感じたところです。

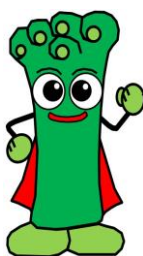
小国中学校の推進する地域学校協働活動

地域の皆さんの持つ知識や技能を、本校の教育活動に生かしていただき、交流や体験を通じた学びの場を与えていただいています。地域、社会の一員としての意識を育てながら、自尊感情を高めることにも大きな役割を果たしていただいています。

小国中生に身につけさせたい資質

- 【地域への理解】 文化、産業、歴史、風土、自然等の理解・・・ふるさとへの誇り
- 【地域への感謝】 地域に育てられている自覚
- 【地域に貢献しようとする態度】 地域の一員としての当事者意識

地域の方々との交流や協働活動の意義



- 子ども一人ひとりの自尊感情を高める
 - ・認められる・褒められる
 - ・意義や価値を知る
- 子ども一人ひとりの社会性を高める
 - ・あいさつ、返事、感謝の言葉
 - ・コミュニケーション力
 - ・社会人、地域の一員としての自覚、責任感
- 自主性を高める
 - ・自分から取り組む
 - ・挑戦する、努力することの価値

地域協働活動の推進方針

- 1 白い森学習を地域学習の中心に位置づけ、系統的、計画的に地域理解をすすめます。
- 2 交流活動を通して自尊感情の高揚を図ります。
- 3 体験を通しての気づき、学びを重視します
- 4 活動の振り返りをとおして、意義づけや価値付けを行います。
- 5 地域、学校に互惠性のある活動を推進します。
- 6 活動のスリム化を推進します。

多くの皆さんの参加協力をお願いします



学校パートナー会議参加者

舟山孝夫さん（学校運営協議会長）
齋藤恒助さん（畑のパートナー）
志田やよ江さん（環境パートナー）
後藤弘子さん（環境パートナー）
加藤ミサ子さん（環境パートナー）
新野節子さん（環境パートナー）
岩沢ちかさん（読書パートナー）
加藤美恵子さん（読書パートナー）
林 公子さん（地域コーディネーター）

ありがとうございました